2026年10月30日

各 位

会 社 名　株式会社メディネット
代表者名　代表取締役社長　久布白兼直
（コード番号:2370 東証グロース）
問合せ先　取締役経営管理部長　落合　雅三
（ＴＥＬ　０３－６６３１－１２０１）

（開示事項の変更）
第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について

当社は、本日開催の当社取締役会において、2025年12月3日付「第三者割当による第20回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」[i]（以下「2025年12月開示」）、2026年3月27日付「（開示事項の変更）第三者割当による新株予約権の発行に関する支出予定時期の変更について」[ii]（以下「2026年3月開示」）、において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」の支出内容及び支出予定時期を変更することを決議いたしましたのでお知らせします。

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。

1．2025年12月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

(1)第20回新株予約権

＜変更前＞

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
（ⅰ）　包括的高度慢性下肢虚血を対象とした再生医療等製品の開発費用	1,055	2025年12月～2027年12月
（ⅱ）　細胞加工業に係る販促費用	196	2025年12月～2027年12月
（ⅲ）　本社運転資金	598	2025年12月～2026年12月
合計	1,849	

[i] 2025年12月3日リリース https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/2727717/00.pdf
「第三者割当による第20回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に関するお知らせ」

＜変更後＞

調達する資金の具体的な使途（変更箇所は下線）

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
（ⅰ）　包括的高度慢性下肢虚血を対象とした再生医療等製品の開発費用	400 (0)	2025年12月～2026年12月
（ⅱ）　特定細胞加工物に関する新規技術の導入、エビデンス強化等に係る技術・臨床研究費用	655 (0)	2027年1月～2028年12月
（ⅲ）　細胞加工業に係る販促費用	196 (0)	2025年12月～2027年12月
（ⅳ）　本社運転資金	598 (0)	2025年12月～2026年12月
合計	1,849 (0)	

（注）

1．上記の金額欄の括弧書きの数値は、2026年9月30日時点における未充当額となります。

2．上記（ⅰ）につきましては、2026 年 10 月 30 日リリース「（開示事項の変更）インドで製造販売承認を取得した再生医療等製品の日本における自社開発の中止に関するお知らせ」に記載のとおり、当該再生医療等製品の開発中止を決定しております。それに伴い、研究開発活動については、新たな特定細胞加工物の臨床応用や臨床研究等に重点を置くことから、上記（ⅱ）の通り、特定細胞加工物に関する新規技術の導入、エビデンス強化等に係る技術・臨床研究費用に資金使途を変更いたします。

※第 20 回新株予約権は 190,501 個（19,050,100 株）が行使完了しており、528 百万円の資金を調達しております。2026 年9月 30 日現在において、（ⅰ）331 百万円、（ⅲ）70 百万円、（ⅳ）126 百万円を充当しており、調達した資金を全て充当しております。

2．2026 年3月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

（1） 第 16 回新株予約権

＜変更前＞

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
（ⅰ） 再生医療等製品の開発に係る費用	551	2025年8月～2027年9月
（ⅱ） 国立がん研究センターと共同研究するHSP105の研究開発に係る費用	537	2020年7月～2027年9月
（ⅲ） 京都府立医科大学と共同研究するBAR-T技術の研究開発に係る費用	53	2020年7月～2022年12月
（ⅳ） 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費	170	2022年12月～2023年3月
（ⅴ） 本社運転資金	152	2022年12月～2023年3月
合計	1,463	

[ii] 2026 年3月 27 日リリース https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/2782291/00.pdf
「（開示事項の変更）第三者割当による新株予約権の発行に関する支出予定時期の変更について」

＜変更後＞

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
（ⅰ） 再生医療等製品の開発に係る費用	100 (61)	2025年8月～2026年12月
（ⅱ） 特定細胞加工物に関する新規技術の導入、エビデンス強化等に係る技術・臨床研究費用	451 (451)	2027年1月～2028年12月
（ⅲ） 国立がん研究センターと共同研究するHSP105の研究開発に係る費用	335 (0)	2020年7月～2026年9月
（ⅳ） 本社運転資金	201 (201)	2026年10月～2028年12月
（ⅴ） 京都府立医科大学と共同研究するBAR-T技術の研究開発に係る費用	53 (0)	2020年7月～2022年12月
（ⅵ） 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費	170 (0)	2022年12月～2023年3月
（ⅶ） 本社運転資金	152 (0)	2022年12月～2023年3月
合計	1,463 (713)	

（注）

1．上記の金額欄の括弧書きの数値は、2026 年9月 30 日時点における未充当額となります。
2．上記（ⅰ）につきましては、2026 年 10 月 30 日リリース「事業構造改革の実施に関するお知らせ」に記載の通り、研究開発活動については、再生医療等製品事業における研究開発案件の集約・見直しを進め、特定細胞加工物の臨床応用や臨床研究等に重点を置くことから、上記（ⅱ）の通り、その資金使途の内 451 百万円を特定細胞加工物に関する新規技術の導入、エビデンス強化等に係る技術・臨床研究費用に使途変更いたします。また、上記（ⅲ）につきましては、研究開発案件の集約・見直しを進めることに伴い、研究開発を中止いたします。支出残となった 201 百万円につきましては上記（ⅲ）の通り、本社運転資金確保の必要性から資金使途を変更いたします。

※第 16 回新株予約権は、164,000 個（16,400,000 株）全てが行使完了しており、1,463 百万円の資金を調達しております。2026 年9月 30 日現在において（ⅰ）38 百万円、（ⅱ）335 百万円、（ⅲ）53 百万円、（ⅳ）170 百万円、（ⅴ）152 百万円をそれぞれ充当しており、支出していない資金 713 百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

なお、本件による 2026 年9月期決算に与える影響はございません。2027 年9月期以降の業績に与える影響については、今後公表する業績予想への反映を含め、検討を進めております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上